特許協力条約

PCT

REG'D 1.8 AUG 2005
WIPO PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人 の掛類記号 KEM-121PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/010808	国際出願日 (日. 月. 年) 29.07.2004	優先日 (日.月.年) 31.07.2003		
国際特許分類(IPC)Int.Cl. ⁷ HO1L				
出願人(氏名又は名称) コマツ電子金属株式会社				

コマツ電子金属株式会社			
1. この報告 登は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告 である。 法施行規則第 57 条(PCT36 条)の規定に従い 送 付する。			
2.この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。			
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a.			
「一補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)			
「 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙			
b. 「 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)			
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。			
 ▼ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 「 第 I 欄 優先権 第 I 欄 優先権 第 I 欄 優先権 第 I 欄 網 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 I 欄 発明の単一性の欠如 第 V 欄 発明の単一性の欠如 P C T 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI 欄 ある種の引用文献 第 VI 欄 国際出願の不備 第 VII 個 国際出願に対する意見 			

国際予備審査の請求書を受理した日 31.01.2005	国際予備審査報告を作成した日 04.08.2005
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 菅野 智子
	電話番号 03-3581-1101 内線 3471

第I欄	報告の基礎	
1. この[国際予備審査報告は、下配に示す場合を除くほか	、国際出願の言語を基礎とした。
Г :	の報告は、 語による翻訳文を	基礎とした。
4	たれは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ	ర.
	PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査	
	PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	
Γ		
2. この た差替え	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6 <i>3</i> 用紙は、この報告において「出願時」とし、この	(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出されり報告に添付していない。)
V	出願時の国際出願書類	
Γ	明細書	
	第 ページ、	出願時に提出されたもの
	第 ページ	は、 付けで国際予備審査機関が受理したものは、 付けで国際予備審査機関が受理したものは、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第 ページ*	*、 何 に 国际 ア 偏 者 算 機 房 か 文 母 し に も の
厂	請求の範囲	
	第項、	出願時に提出されたもの
	第	*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの けける国際予備案を機関が受理したもの
	第	*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの *、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		
Г	図面	·
	第ページ/図	、出願時に提出されたもの
	一葉 ペーシノ 凶・	*、
	第 ページ/図	*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
Г	配列表又は関連するテーブル	
•	配列表に関する補充欄を参照すること。	·
	•	•
3.	補正により、下記の書類が削除された。	·
	一 明細書 第	ページ
	第一・ 第一	項
	第	ページ/図
	配列表(具体的に記載すること)	
l	配列表に関連するテーブル(具体的に記載	けること)
	,	•
4. F	この報告は、補充欄に示したように、この報告 えてされたものと認められるので、その補正が	fに添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 されなかったものとして作成した。(PCT規則 70. 2(c))
	町細書 第	<u></u> ページ
	「 請求の範囲 第 第	
1	第	ページ/図
1	□ 配列表 (具体的に記載すること) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	敢すること)
,	1. 配列表に関連するアーノル(具件的に記録	双 y 'd L C /
1		
1		
* 1	に該当する場合、その用紙に "superseded" と	記入されることがある。
7.	James A Bridge of Controlled and Controlled of the Control of the	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1		

請求の範囲 13

産業上の利用可能性 (IA) 請求の範囲 1-13 請求の範囲

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 4-323825 A (ワツカー・ケミトロニク・ゲゼルシヤフト・フュア・エレクトロニク・グルントシュトツフエ・ミツト・ベシュレンクテル・ハフツング) 1992.11.13,全文,全図 &EP 0497104 A1 &DE 4103084 A1 & IP 8-21570 B2

請求の範囲13に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1から新規性を 有さない。請求の範囲13に記載された「各隣接する前記ウエーハ間におけるエッチ ング液の液流に変化を与える部材」は、文献1のインサート部材の各支柱に相当する。

請求の範囲1-12に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性を有する。特に、「非回転部材」については、最も関連のある先行技術文献であると認められる文献1にも開示されていない。